



第53号 ふるさとあやめ通信



城下町新発田まつり

8月27日（木）～29日（土）

台輪300年の歴史

新発田の夏を彩る「城下町新発田まつり」。
 その主役を飾り、享保11年(1726年)から続く伝統の象徴こそが「新発田台輪」です。
 新発田藩6代藩主溝口直治公が、諏訪神社の祭礼をよりにぎわいのあるものにするため、「飾り人形を乗せた屋台を出すように」とお触れを出してから、
 今年で300年の月日が流れました。
 300年という果てしない月日の中で、一度もその歩みを止めなかった新発田台輪は、その時代を生きた人々が大切に守り抜いてきた城下町の誇りです。
 ぜひ、今年も足をお運びください。



スケジュール・記念行事

8月15日(土)～29日(土)	金魚台輪地域廻り (運行日は地域によって異なる)
27日(木)	露店出店 (27日～29日) 和太鼓の響宴、新発田よさこい物語、 奉納台輪、しばたっ子の祭典、民踊流し
28日(金)	まつりパレード
29日(土)	帰り台輪

今年限りの

見どころ!

奉納台輪では、
 諏訪神社神門前で
 6台輪が勢ぞろいし、
 一斉あおり！
 帰り台輪では、
 立売通りと中央交差点
 で一斉あおり！
 盛大に祭りを
 締めくくります

300周年記念行事

<歴史図書館>

○7月4日(土)～9月23日(水)
 「新発田の祭り」
 古文書や絵図を使い、新発田まつり・台輪の歴史をご紹介します

<蔵春閣>

○7月17日(金)～8月31日(月)
 「新発田台輪300年の記憶
 ～熱い想いが紡いだ軌跡～」
 現代に至るまで台輪に携わった人物や歴史を写真・映像でご紹介します

台輪300周年記念寄附金

これからも歴史と伝統文化を絶やすことなく次の100年、200年と守り続け、次世代へ受け継いでいくために寄附を募ることといたしました。皆様の温かいご支援をお願いいたします

記念協賛金

- 協賛金 5,000円
- 申込方法
二次元コードからお申込みください



▲協賛金申込
 フォーム
 令和8年7月15日まで

ふるさと納税 (台輪寄附金)

- 寄附額
一口2,000円～10,000円
- 寄附方法
ふるさとチョイス、楽天ふるさと納税、さとふる、ふるなび
 でウェブ申請か、シティプロモーション室窓口にて受付
 ※返礼品はございません
 詳しくは、ホームページをご覧ください



▲新発田台輪300周年
 記念寄附金ホームページ
 令和9年3月31日まで



新発田城の保全・周辺整備等のため 寄附金を募集します

市のシンボルであり、日本100名城にも選ばれている新発田城の保全や周辺整備を進めるため、市内外の個人や団体を問わず、幅広く寄附を募集しています。

新発田城がこれからも多くの方々に親しまれ、地域の宝として受け継がれていくよう、皆さまの温かい御協力をお願いいたします。

- 寄附額
2,000円以上
- 寄附の申込み
申請書を窓口、郵送、または電子申請より受け付けます

○寄附金額に対する特典

寄付金	御城印	御芳名	施設優待券	観光ガイド
2千円以上 5千円未満	—	市ホームページへ掲載	—	—
5千円以上 1万円未満	白	市ホームページへ掲載	—	—
1万円以上 3万円未満	銅	市ホームページへ掲載	1枚	—
3万円以上 5万円未満	銀	市ホームページへ掲載	1枚	—
5万円以上 50万円未満	金	市ホームページ及び 城内芳名板へ掲載	2枚	—
50万円以上	全4色セット及び 御城印ファイル	市ホームページ及び 城内芳名板へ掲載	4枚	1回



ふるさと納税もお待ちしています！
🔍「ふるさとチョイス」で検索

【窓口】
新発田市民文化会館
【郵送】
〒959-2323
新潟県新発田市乙次281番地2
新発田市教育委員会 文化行政課
☎ 0254-22-9534



▲詳しくは、ホームページをご覧ください

【施設優待券】1万円以上の寄附をされた方に、「蔵春閣」、「市島邸」、「刀剣伝承館・天田昭次記念館」、「落谷虹児記念館」の入場料が無料となる施設優待券を後日郵送いたします。

【観光ガイド】50万円以上の寄附をされた方に、新発田市観光ガイドボランティア協会による有料ガイド（2時間分）無料券を後日郵送いたします。

関東圏におじゃまします！

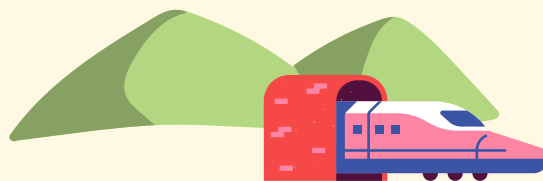
新発田市が参加する関東圏でのイベントをご紹介します。
お近くの方はぜひ遊びに来てください♪

第32回 りんどう湖花火大会

開催日 7月19日（日）
会場 那須りんどう湖ファミリー牧場
（栃木県那須郡那須町高久）

新発田市の特産品などを扱うブースを設置します！

台輪300周年PR、新発田市特産品の販売、
スタンプラリー企画（景品あり）、
パーベキューで新発田牛の提供（要予約）



イオンレイクタウン 新潟フェア

開催日 8月2日（日）
会場 イオンレイクタウン mori 1F 水の広場
（埼玉県越谷市レイクタウン）

最終日に合わせてブースを設置します！

台輪300周年PR、イオン抽選会へのノベルティ提供、
公式LINE登録&アンケートでガラポン実施、
イオン催事場で新発田特産品の販売

ふるさとしばた応援寄附金のご報告

令和7年度も、全国の皆様から「ふるさとしばた応援寄附金(ふるさと納税)」にたくさんのご支援をいただき、大変ありがとうございました。
皆様からいただいた寄附金は、大切に活用させていただいておりますので、ご報告いたします。

3億5149万7686円
13,885件(昨年比)増!
ありがとうございます

令和7年度 新発田市へ
寄せられた寄附金額

13億1444万6476円 (42,929件)

寄附金は、寄附をいただく際に皆様に選んでいただいた用途にしたがって、様々な事業に活用しています。
令和7年度にいただいた寄附金は、以下のとおり活用します。

用途	寄附金額	活用事業
健康長寿のまちづくり	216,918,600円	・食の循環によるまちづくり推進事業 ・歯科健診・予防事業 等
少子化対策	396,578,808円	・子ども医療費助成事業 ・保育料等助成事業 ・母子保健活動事業 等
産業振興	145,528,678円	・有機農業産地づくり推進事業 ・園芸産地サポート事業 ・誘客促進事業 等
教育の充実	79,598,400円	・しばたの心継承プロジェクト ・学校給食地産地消導入事業 ・新発田城整備事業 等
ゼロカーボンシティの実現	28,235,000円	・脱炭素社会推進事業 ・防犯灯LED化加速事業 等
歴史資料館の整備	21,883,100円	・複合・生涯学習施設(歴史資料館)の整備に向けた 取組に活用します
クマ被害対策支援	392,000円	・環境整備 ・安全対策 等
災害支援代理受付(牧之原市)	1,072,000円	・静岡県牧之原市の台風15号による竜巻被害に際し、 新発田市が代理で事務を行いました
市長に一任	424,239,890円	・市長が責任をもって用途を定めます

今後も「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」の実現に向け、様々な事業を進め、皆様に応援いただけるよう取り組んでまいります。引き続き「ふるさとしばた」への応援をよろしくお願いいたします！

ふるさとあやめ通信のLINE配信について

新発田市公式LINEで「ふるさとあやめ通信」を配信しています。友達登録をして、「しばたサポーターズ」をご設定ください。また、過去の「ふるさとあやめ通信」はホームページからもご覧いただけます。ぜひ、ご利用ください！



◀ 新発田市公式LINE
友達登録はこちら

© shibata city



◀ 新発田市公式ホームページ
過去の「ふるさとあやめ通信」はこちら

新発田市では、現在17名の地域おこし協力隊が活躍しています。数ある活動地の中から、新発田を拠点として選んだ協力隊の皆さんに、「新発田」についてお話を伺いました。

地域おこし協力隊とは...都市地域から過疎地域等へ移住して、概ね3年間の任期の中で「地域協力活動」をしながらその地域への定住・定着を図る取組



こばやし ゆうたろう
小林 侑太郎
令和7年8月1日着任

コミュニティセンターの
利活用促進に取り組んで
います

皆さん初めまして！

令和7年8月に着任しました、新発田市地域おこし協力隊の小林侑太郎です。私は元々新発田の出身で、大学生まで新潟に住んでいました。就職を機に一度関東へ上京しましたが、地域おこし協力隊として再び地元の新発田へ戻ってきました。

地元に戻ってきて、県外に出るまで気づかなかった新発田の魅力を発見している日々です。空気が澄んでいて、美しい山々を望む田園風景は新発田市ならではのなと感じます。また、おいしいお酒や海鮮など、食に関してもたくさんの魅力がある街だと思います。

それだけではなく、新発田の魅力は、「人」にあると思っています。優しく包み込んでくれたり、一緒に何かやろう！とノッてくれたりする方々が多く、とても安心して協力隊の活動や日々の生活ができています。



コミセン祭りでの様子
新発田市菅谷産のりんごとお餅をつかった創作フード
“モッチャップル”を販売しました！

私は現在協力隊として、「コミュニティセンターの利活用促進」というミッションで活動を行っております。市内10か所あるコミュニティセンターを回りながら地域の方々と関係を構築し、コミュニティセンターにて開催されるイベントの補助を行ったり、自主イベントを開催したりしています。

最近ではシニア世代の方を中心に「モルック」の人気の高まっています。モルックは、木の棒を投げてピンを倒し点を稼ぐシンプルながら奥深いスポーツです。実際に市内複数のコミセンでモルックのサークルが立ち上がり、定期的に活動を行っています。年齢や性別を問わず誰でも気軽に楽しめることから、今新発田でブームを起こしつつあり、モルックを通して市民交流ができています。

コミュニティセンターでは利用者の減少などの課題もありますが、大切な地域交流の場としてこれからも残していけるように、地域の方々と楽しく協力隊活動を行っていきます。



出張講座でモルックをする様子
市民のみなさまからは「楽しかった・また来てほしい！」
など、うれしい声をいただいています♪

